

お題「池」(連記) 伊藤基弘選

字結び可

池の鯉大海知らず得意顔

アキラ

池の傍カエル探して右左

英二

石投げて遊んだ池は埋め立て地

きよな

鯉泳ぐ池を夢見てメダカ飼う

ひよこ

水をくれ池で叫んだ欲張り派

千楽

甲羅干しのんきな亀と変わりたい

ミチ

心持ち次第で変わる池の色

広子

鏡池なにか伝説持っている

幸男

朝散歩池の周りをゴミ拾い

えいじ

空と池二つの月が語り合う

よう子

カッパルの寄り添う影を映す月

哲子

満月と池の水面の二重奏

ちさと

遠く来て池塘に一人よもすがら

正清

数知れぬボールが沈む憎い池

健一

池眠り生物すべて息ひそめ

博文

映り込む影が詩を生む絵画生む

郁子

秀 諍いの火種小さな池に捨て

乃り子

軸 池や川我が物顔の外来種

基弘

お題「触れる」山神きよな選

琴線に触れるメロディーホ短調

郁子

数の子の触感師走高くても

乃り子

寺院仏閣触れ放題の古都の秋

乃り子

ぬくもりに触れて心の刺を抜く

よう子

春を待つ冬芽にそっと触れてみる

正清

手が触れてドキドキしてた十五歳

健一

触れて欲しい傷もあります二つ三つ

英二

触れないで済ませたいのについ口に

えいじ

ワンタッチついツータッチする不安

正清

弟に恐々触れる姉三つ

英二

五感より第六感を信じ生き

幸男

亡き人の歌集ときおり触れてみる

郁子

タッチされ一途な帯がほどけ出す

ちさと

触診は手を温めてする名医

アキラ

秀 最後まで触れてはならぬ玉手箱

哲子

軸 足触れて貴方の温い心知る

きよな

お題「永久」奥村義雄選

永久欠番選手の宝物

きよな

腰痛と親しくなつて永久の友

幸男

とこしえに憧れていた若い頃

ミチ

永久に生きられるのか天国は

博文

年経ても初恋のとき色あせぬ

哲子

名前負け次々抜ける永久齒

ミチ

永久の平和望めぬこの地球

ひよこ

永遠の愛誓つてからの耐える日々

アキラ

なぜ争う地球は青く丸いのに

哲子

国と国争いのタネ果てしなく

郁子

永遠に降らせてならぬ黒い雨

よう子

ノーマアの誓い迷わすウクライナ

アキラ

永遠の愛誓い阿吽のふたり旅

博文

DNA動かぬ証拠勝訴する

乃り子

秀 永久に羽を休める蝶の箱

よう子

軸 廃校へ校歌に永遠を歌いつつ

義雄

お題「どきどき」(共選) 近藤郁子選

吠える犬怯える児らの通学路

基弘

カード額サギじゃないかと確かめる

ミチ

罪な人いつも私をときめかす

よう子

どきどきの正体見たり心電図

英二

訳もなく時折拗ねるコンピュータ

健一

てんぱいの役満リーチかけずおく

正清

カラオケで心拍数と息あがる

ミチ

ウーバーイーツ年甲斐もなく初体験

乃り子

医師の前胸の動悸が静まらず

博文

すれ違うだけでドキドキ中二頃

きよな

発表にヤキモキするは親だった

千楽

手をつなぎ会話は何故か途切れ気味

哲子

主賓あいさつ練習はしてきたが

アキラ

女医さんに仮病をつかい会いにゆく

正清

秀 嘘ついてじつとりと汗かいている

えいじ

軸 ハサミの音明暗分けるこの封書

郁子

お題「どきどき」(共選) 前田幸男選

どきどきに期待と不安いり混じり

基弘

吠える犬怯える児らの通学路

基弘

女医さんに仮病をつかい会いにゆく

正清

どきどきの正体見たり心電図

英二

あと一球息詰めながら観る試合

郁子

すれ違うだけでドキドキ中二頃

きよな

生きてます熱いハートがドツキドキ

広子

初出産第一子とのご対面

乃り子

嘘ついてじつとりと汗かいている

えいじ

胸震えた若い昔に戻りたい
 てんばいの役満リーチかけずおく
 きよな 正清
 ときめきが減り厚くなる面の皮
 よう子
 怖い父時折見せた優しい眼
 健一
 秀 罪な人いつも私をときめかす
 よう子
 軸 人並みに胸バクバクの更年期
 幸男

今月の秀句 おめでとうございます

お題「池」基弘選	乃り子
諍いの火種小さな池に捨て	
お題「触れる」きよな選	哲子
最後まで触れてはならぬ玉手箱	
お題「永久」義雄選	よう子
永久に羽を休める蝶の箱	
お題「どきどき」郁子選	えいじ
嘘ついてじつとりと汗かいている	
お題「どきどき」幸男選	よう子
罪な人いつも私をときめかす	

自由吟 野々村アキラ選
 もくもくと夜食の湯気のカップ麺
 正清
 血尿がバロメーターという修業
 きよな
 日の暮れの早さ気ぜわし冬間近
 家までの坂を自転車後少し
 そんなこと二の次にしてもつの鍋
 ちさと
 良性と言われ一人の晩ごはん
 ひよこ
 大仏殿も一度行こうおじいちゃん
 予定表詰まってくると不安だな
 シグナルが出始めました脚と耳
 よう子
 今を生き今を笑って丸く住む
 大逆転八冠成った秋の夜
 健一
 憧れの美人女優が祖母の役
 長く待ったタテジマついに日本一
 哲子
 秋とばし突然冬がこんにちは

半世紀ユーターン過ぎ尚も友
 乃り子
 バスも減る年金も減る皺ふえる
 寒くなりお膳の上で威張る鍋
 基弘
 大波乱秋が来なくて冬が来る
 プーチンもあの世へ行けば善人か
 年のせい楽しい夢が見られない
 博文

困った人を神さんは助けられない
 千楽
 亡き母は子沢山でも人助け
 いい笑顔にいい一日が待っている
 広子
 約束が柔な心を追い詰める
 夏日過ぎ秋とんで冬温暖化
 ミチ
 じんましん塗り薬より飲む薬
 糸ようじ上手く使えず顔ゆがむ
 えいじ
 もういいか嘘の無い日を過ごそうか

病人の心診る医師診ない医者
 義雄
 妊産夫妻が休暇を取る時代
 被害者が加害者になり舞台へと
 郁子
 成りゆきを楽しむゆとり遊行期は
 Tシャツからヒートテックに衣替え
 英二
 ガザの次笑顔で阪神タイガース
 節制が実り医療費今年ゼロ
 アキラ
 夢を追う今日も予定に追われてる
 勉強会 お題「目立つ」
 ☆マラソンで先頭切って最後ビリ
 純一
 ☆淡々とタイトル八つ独り占め
 健一
 ☆山登り普段は着ない赤い服
 ひよこ
 有り難いのっぽの友と待ち合わせ
 ミチ
 目立つこととしては失敗してる僕
 基弘
 子の頃は目立った人も今は並み
 博文
 世に出ると目立ってしまう七光り
 郁子

鍋奉行目立って元氣秋深く
あの人が歩けば人が振り返る
棒読みばかり心躍らぬ岸田節

博文
ひよこ
千楽

十二月の予定

推薦十句

田中 薫選

句会結果掲載順

空と池二つの月が語り合う
ぬくもりに触れて心の刺を抜く
五感より第六感を信じ生き
触診は手を温めてする名医
永遠の愛誓ってからの耐える日々
どきどきの正体見たり心電図
てんぱいの役満リーチかけずおく
今を生き今を笑って丸く住む
もういいか嘘の無い日を過ごそうか
山登り普段は着ない赤い服

奈良番傘川柳会 会長田中 薫
よう子
幸男
アキラ
アキラ
英二
正清
よう子
えいじ
ひよこ

奈良県川柳大会入選句

題「ずっしり」沖本万喜選

不器用だが体の芯に届く愛

八木哲子

題「兆し」飛永ふりこ選

僕んちに赤ちゃん来るの待っている
顔洗う猫見て傘を忍ばせる
快復の兆しか口が悪くなる

山神きよな
小妻健一
原 広子

題「極意」乙部美鈴選

パワハラと愛が匠の技伝え
人として生きる極意はぶれぬこと

播本英二
八木哲子

題「いのち」島岡美智子選

骨壺を抱いて眺めていた桜
蹴っているお腹は未来繋げてる
命綱その年金がまた細る

近藤郁子
八木哲子
野々村アキラ

題「ゆらゆら」福井成子選

揺り椅子で古いアルバムめくる午後
ノーモアの決意はどこにわが日本
ゆする手に吾子うつすらと夢の国

原 広子
野々村アキラ
山神きよな

十二月十四日(木) 十三時〜 勉強会

いきいきホール一階 お題「夢」二句

アキラ迄前日までに事前投句

十二月二十日(月) 十七時締め

十二月誌上句会 「仲間」(連記) ミチ

「もやもや」(共選) えいじ 乃り子

「終わる」健一 「ハガキ」よう子 各二句

自由吟アキラ 四句以内 アキラまで投句

日頃思うことを、五七五で詠んでいます。

新入会員歓迎 新会員向け勉強会実施中

入会金不要 月会費百円

お問い合わせ

*お電話ください 資料持参します

原 広子 79・0061

野々村アキラ 090・6961・1292